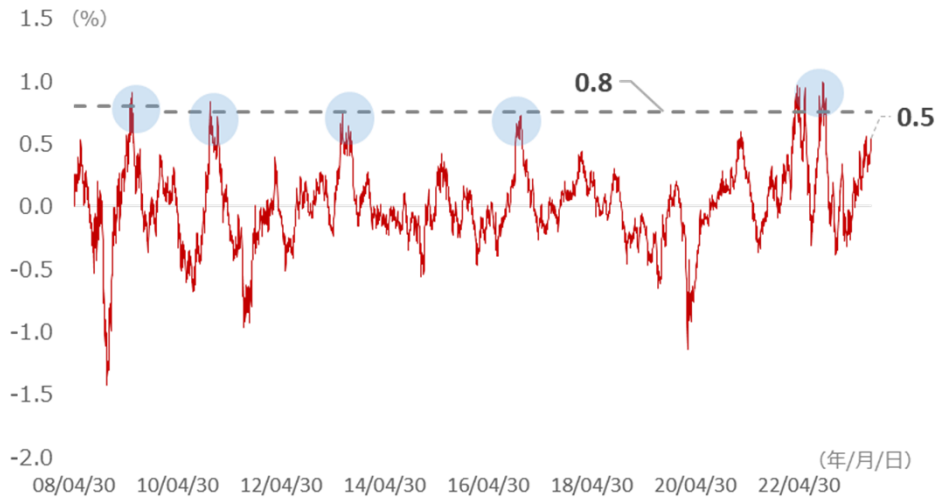




## 米10年金利のMAX上昇目途は4.8%

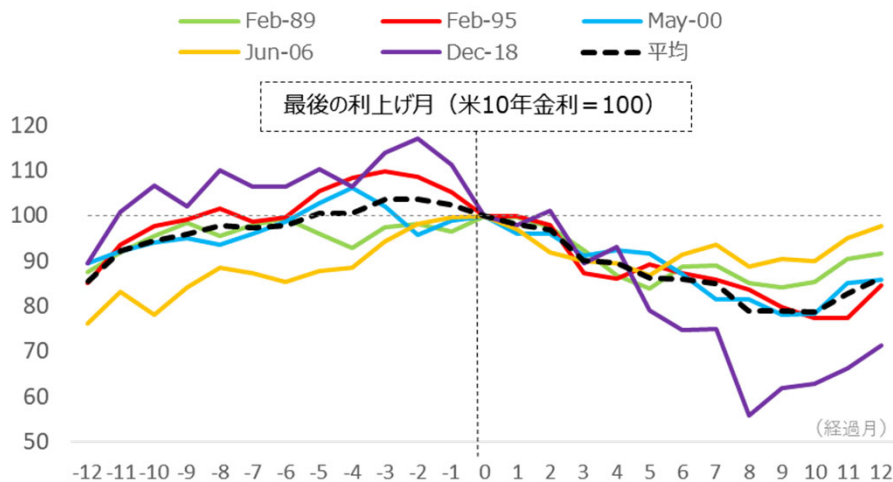
- 10年金利90日移動平均から+0.8%乖離すると10年金利はピークアウトする傾向があります。(図表1)
- 現状の90日移動平均は4.0%ですので、最大4.8%までの上昇余地はありますが、そこは米国債投資の肝と見たいです。
- 1989年以降の米利上げ停止月を起点にしますと、その2ヶ月前(過去平均)に10年金利はピークアウトする傾向があります。(図表2)
- 11月が最後の利上げなら9月に、12月が最後の利上げなら10月に、10年金利はピークアウトとの示唆で金利上昇の時間は限られます。

<図表1> 米10年債利回り 90日移動平均からの乖離幅 MAX上昇目途は4.8%



※Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

【図表2】米利上げ停止前 平均2ヶ月前に米10年金利はピークアウト



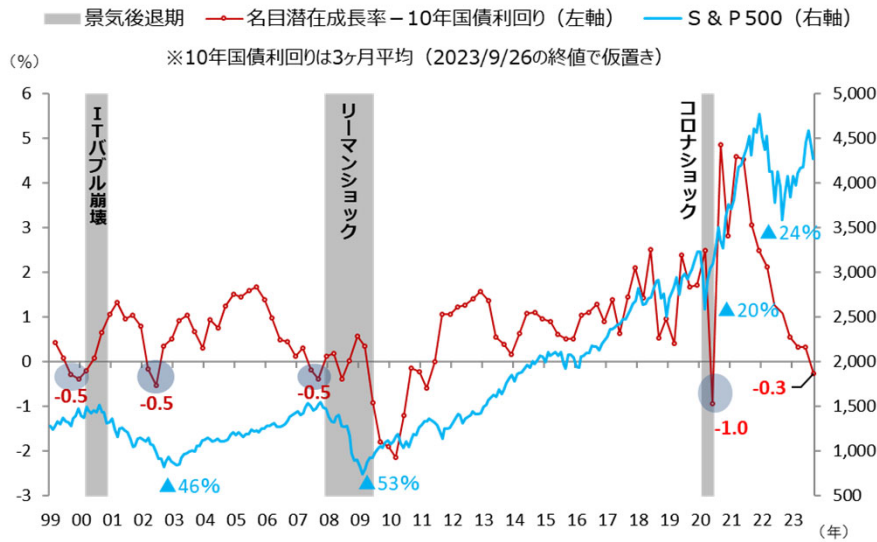
※Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



- 「名目潜在成長率 - 10年金利」▲0.5%はリセッション+株価大幅下落のトリガーになってきましたが、現状▲0.3%に達しました（図表3）  
 ⇒マイナス域突入の意味するところは「経済全体の投資リターン < 投資資金調達コスト」であり「逆ザヤ」に等しいです。（図表3）  
 ⇒そうであれば足元の「景気楽観論・金利上昇」は行き過ぎ、米10年金利4.5%以上はオーバーシュート域と見たいと思います。

【図表3】リセッション+株価大幅下落のトリガーは「名目潜在成長率-10年金利▲0.5%」



※青字は株価下落率、赤字は「名目潜在成長率 - 10年国債利回り（3ヶ月平均）」のマイナス値  
 ※Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

## 10年金利をカギにしたNASDAQ投資戦略

- 「10年金利90日移動平均から+0.8%乖離 = 10年金利ピークアウト」（図表1：前頁）を利用したNASDAQ投資は一考に値します。
- 10年金利90日移動平均から+0.8%乖離でNASDAQに投資した場合、1回の例外を除き全てプラスパフォーマンスでした。（図表4）

【図表4】米10年金利90日移動平均からの乖離幅+0.8%越え⇒NASDAQエントリーポイント

①米10年金利90日移動平均からの乖離幅+0.8%越え達成日	①以降のNASDAQ騰落率		当時の米金融政策
	3ヶ月後	6ヶ月後	
2009/06/10	12.5%	18.2%	政策金利据え置き局面 (0.25%)
2010/12/15	1.9%	0.5%	
2013/07/05	5.2%	16.8%	
2016/12/29	8.6%	13.1%	利上げ局面
2022/04/08	▲15.1%	▲23.1%	22年3月利上げ開始 75bp利上げ局面
2022/06/13	7.6%	4.1%	
2022/10/14	1.6%	13.5%	

※Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



ストラテジストの視点

松波塾

### 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

#### <設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等： ニッセイアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者  
関東財務局長（金商）第369号  
加入協会： 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

